

配送ワーカーズを わくわ～く組合員編集委員が取材しました。



8月 松戸の班に
お邪魔しました。

※班は、お友達や近所の方と4名以上で集まって注文できる共同購入の仕組みです。個別配送が導入される前からのシステムで、2022年4月で1,015の班があります。購入代金が4%引きとなり、毎週決まった曜日に班の荷受け先に届きます。

配送ワーカーズの方も組合員！

生活クラブの基盤である班配送を取材しました。生活クラブ歴38年の組合員さんは「“子どもの身体にいいもの、安心なものを食べさせたい”が加入のきっかけで、組合員として仲間を増やし、安心安全の食材を安定して購入する仕組みを守ってきました。班のおかげで、コミュニティができ、和気あいあいと継続できました。」とお話くださいました。

食は心と身体の健康に繋がります。組合員の意見が反映された消費材づくりが生活クラブなのだと感じました。「個配」でコミュニティの良さを感じづらくなっています。ネットでの情報交換もありますが、同じ目線の配送ワーカーズに話す方が早いです。私たちと生活クラブを繋いでくれる存在として意見を伝えようと思いました。(柏 B 田口由美恵)



組合員の声も運んでくれる配送ワーカーズ

私が組合員になって5年程経ちます。

「なんで消費材って言うの?」「Rびんって何?」最初は疑問だらけでしたが、今は「地域の子育てイベントに、生活クラブも出たら組合員が増えるんじゃない?」「子供がお気に入りのカレーが毎週注文できたらいいな」等々、意見や要望を持つようになりました。でも、そんな思いをどこに伝えたらいいのか分からずにいました。「是非、私たちに伝えてください!」今回の取材中、配送ワーカーズの方にそう言われた時には驚きました。消費材を私達に届けてくれるだけではなく、私達の意見や要望を生活クラブに届ける役割も担っているのです。組合員一人一人が声をあげ、活動することにより、生活クラブが更に充実したものになるはず。自分の声を配送ワーカーズの方に届けてもらおうと思いました。(佐倉 B 武政憲子)

配達車両添乗記

元気な配送担当のMさんの車に添乗し出発! 注文書を見ながら素早く正確に消費材をセット。ポストにお知らせを入れるだけのお宅や、留守の場合は玄関前に品物を置く。水や米など重い品物をものともせず運んでは、組合員さんと元気に挨拶を交わします。数件目の配達先で消費材を運んでいったMさんが戻ると手には2つの温かいコーヒー。「いつもは1つなのだけど今日は2人いたから」と、組合員さんの声。温かいコーヒーをいただきながら優しい気遣いに心までほっこり。また配達時に、一言二言の言葉を交わす中で、組合員さんの健康状態や変わった事がないか、「見守る」という役割も担っているのだと思いました。ワーカーズの働き方は、お子さんの都合等で早く帰りたいという時は帰着後の片付けを皆で代わり、協力合せて仕事をする職場なのだと感じました。(柏 B 香取春美)



一緒に働きませんか 配送ワーカーズ 募集

ご連絡ください。

- ・企業組合わーかーず・あい (柏センター)
女性中心の賑やかな職場です! ☎04-7134-7031(板倉)
- ・企業組合ワーカーズ・コレクティブみらい (松戸センター)
各種研修制度あります。 ☎047-703-9702(藤井)
- ・企業組合ワーカーズ・結(千葉・ベイ・佐倉・市原センター)
働くママを応援しています。☎043-279-0013 (本部 千葉)



特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会機関紙『わくわ～くちば』第119号
〒277-0827 千葉県柏市十倉二 330-97 生活クラブ虹の街センター柏内 Tel/Fax 04-7134-0072

Email wcochiba@s2.dion.na.jp

Web サイト <http://wcochiba.org/index.html>

発行責任: 熊澤聡子 編集: W.Co 千葉県連合会編集委員会 発行日 2022年10月吉日